

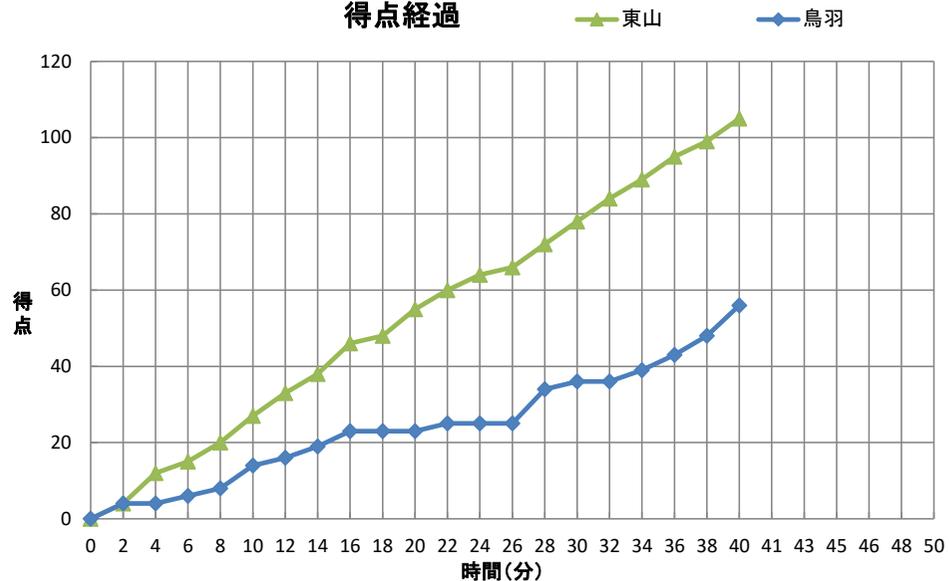


第40回京都府高等学校選手権大会 兼  
第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

男子		10月31日		12:00 開始															
決勝リーグ		島津アリーナ京都		M															
◎	東山	105	<table border="1"> <tr> <td>27</td> <td>1st</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>2nd</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>3rd</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>4th</td> <td>20</td> </tr> </table>			27	1st	14	28	2nd	9	23	3rd	13	27	4th	20	56	鳥羽
27	1st	14																	
28	2nd	9																	
23	3rd	13																	
27	4th	20																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	西部 秀馬	12	0	6	0	0	1	岡崎 日向	-	-	-	-	-						
5	堀 陽稀	4	0	1	2	1	2	千代 健斗	-	-	-	-	-						
6	村山 陣	4	0	2	0	0	12	倉橋 輝	-	-	-	-	-						
* 7	中川 泰志	22	3	5	3	1	* 13	半田 西之介	5	1	1	0	0						
8	針多 慶次朗	2	0	1	0	0	* 19	大谷 一陽	2	0	1	0	1						
* 9	▲トロン ジョン ピエール	21	0	10	1	1	22	井爪 陸大	-	-	-	-	-						
10	今野 凌	8	0	4	0	3	30	福嶋 理公	4	0	2	0	0						
* 11	米須 玲音	9	2	1	1	0	33	富樫 正喜	0	0	0	0	0						
12	滝本 純也	0	0	0	0	1	34	榊田 夕陽	-	-	-	-	-						
13	清水 拳	4	0	1	2	1	39	松吉 周次	14	4	1	0	0						
* 14	堀田 尚秀	8	2	1	0	0	* 60	奥田 晴大	0	0	0	0	4						
15	矢倉 啓輔	2	0	1	0	2	66	関口 宏登	0	0	0	0	0						
16	木下 楽雲	0	0	0	0	1	70	吹田 陸斗	10	0	4	2	2						
17	曾我部 嵐史	1	0	0	1	1	* 85	箱石 怜汰	8	0	4	0	3						
18	角野 寛伍	8	2	1	0	0	* 91	杉村 真瞳	13	0	6	1	3						
コーチ	大澤 徹也					0	コーチ	福嶋 一夫					0						
Aコーチ	0						Aコーチ	増田 和彦											
合計		105	9	34	10	12	合計		56	5	19	3	13						
主審: 山下 大輔 副審: 布施 修平 副審: 高橋 竜太郎																			

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	4:21	11:08	26:34	31:56	:	:

〔戦評〕

第1P、鳥羽高校は東山高校の高さに対して、2-3のゾーンディフェンスでスタート。それに対して東山高校は#7・#11を中心に、中から外の展開で外角ショットで得点していく。鳥羽高校も、#85のミドルショットと得意のカッティングから#91がフィジカルをいかした「らしい攻撃」で反撃。中をしっかり固める鳥羽高校のディフェンスに東山高校の外角が入らず2分間ノーゴール。しかし、東山高校#7・#11がミドルショットを連続で沈め再び東山ペースとなり27対14で第1P終了。

第2P、鳥羽高校はゾーンディフェンスを継続。第1Pは、中での得点が伸び悩んだ東山高校であったが、一瞬の隙を見逃さず#9番の高さを生かした得点でさらにリードを広げる。一方、鳥羽高校は#85のミドルショットで反撃。交代した#39の3Pショットで応戦する。しかし、第1P防ぐことができていた東山高校のトランジションオフェンスが決まり出す。主導権を完全に握ったまま一気にリードを広げ55対23で東山高校リードで第2P終了。

第3P、残り5分から東山高校は5人メンバーチェンジ。鳥羽高校は途中交代の#70のスティールから#13の3Pで得点。そこから、鳥羽高校に流れが行き#91のゴール下ショット、#70のドライブからフリースローを獲得。しかし、東山高校は#6が交代出場しムード一気に変え再びアップテンポなバスケットを展開し、78対36で第3P終了。

第4P、以前東山高校#6のボイスが光る。そのムードのままアップテンポなバスケットを継続。鳥羽高校は、#70・#30のリングに向かう姿勢が最後まで継続され粘りを見せるものの、105対56で東山高校が勝利した。

